

2019 年度第2回教育課程編成委員会議事録(ホテル科・ブライダル科・夜間部デュアル科)

日 時	場 所	進 行	記 録
2020 年 2 月 21 日(金)	8 号館 3F ホテル実習室	澤田	塚本
出席者	企業側(4 名)敬称略・順不同		
	企業名・団体名	名前	学科
	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	飛田 和子	ホテル・ブライダル・デュアル
	株式会社オータパブリケーションズ	山下 裕乃	ホテル・ブライダル・デュアル
	シティパークアンドサービス株式会社	加藤 哲也	ホテル・ブライダル・デュアル
	ホテルニューオータニ幕張	風間 昭彦	ホテル・ブライダル・デュアル
議 事 録	学校側(4 名) 矢口、澤田、小川、塚本		
	澤田より分科会を開会。		
	校長挨拶(矢口) コロナウィルスの影響は観光業界にとって多大である。 学校内では現状、注意喚起をしているが、3/12 に予定している卒業式の開催について懇々としている状況。		
	【各業界でのコロナウィルスの対策】 風間氏:ホテルエントランスにはアルコールを配置。宿泊関係は業務中マスク着用、レストランやクローク・売店等 対面するスタッフについては、除菌スプレーを徹底させたいと、マスクなしで現状対応している。 加藤氏:相模湾で死亡者が出たことから、その区域に立ち入ったスタッフは出勤停止中。 給与保障をする形で対応している。 バス利用は、団体・修学旅行・インバウンド含めキャンセル続き。 大手不動産会社では、マスク着用を義務化して会社が負担している。 自社は、1000 人近くの職員がいるため、義務化は難しい。		
	飛田氏:ブライダル業界では、ある会場から 1 週間以内に中国に行ったスタッフは出入り禁止と指示があった。 ホテルからは、検温とアルコール消毒徹底の指示があった。 マスク着用に関しては、本番中はしない会場がほとんどであるが、ある会場で介添・カメラマン・ボーイ長 がマスクを着用しており、衝撃的であった。		
	山下氏:マスクは、中国の福建省にはあるが、日本まで入ってこないため不足が続いている。 人材事業部は、無理な出勤はせず、自己申告制の在宅勤務を認めている。 宿泊・MICE パーティ・会議のキャンセルが相続いており、キャンセル料をいただけるか否かが 大きな問題となっている。また、ブライダルは個人宴会のため、シフトチェンジして力を入れる動きも 出てきている。 宿泊特化型のホテルは価格競争が厳しい。民泊で 100 円でも泊まれる施設なども出てきた。 ホテルでは、レストランでワインを 50%割引で提供したり、インスポーツなど様々なアイデア を持って、提案していく動きをしている。 箱根は、今中国人はいなくて、日本人・欧米人しかいない。		
議 事 録	澤田 :学校としては、注意喚起のほか振替試験を行う予定の学生が微熱で受験できなかったため、 特例として免除を認めた。		
	【2019 年度/2020 年度 教育課程について】 ■共通科目		
	澤田 :2018 年～2019 年にかけて、卒業研究 1→2 単位に時間数を増やした。 PC 操作に個人差があり、研究レポートや発表用パワポ作成などの実務で生かせるようにするため。 操作技術は上がったと思う。		
	また、2018 年度より「国際交流」を導入。 テーマを決めてワークさせたり、留学生と授業内で交流を持てるようにと考えていたが、授業終了期間の 違い等もあり、次年度調整を含めて行っていきたい。		

■専門科目

澤田 :ホテル科

■2019 年度新たに取り入れた「身だしなみ講座」(前期)

先日行われたカクテルコンペのイベントでも身だしなみの成果が見られた。

■「バーテンダー講座」

カクテルを学生たちにベース・具材・色合い・デコレーション等考案&デッサンさせ、発表する授業。代表者 12 名は、カクテルコンペで披露。カクテルコンペは、司会・材料係等も学生達が役割分担して行う成果発表の場。

■TOEIC・英検対策他英語のクラス分けについて

今までは、レベル分けすることに懸念があり、能力差に関係なく均等に分けていたが、担当の先生からも依頼があり、今後レベル分けをする方向で考えている。

■資格取得について

ホテル実務技能検定、H 検、HRS に加えて、ホテルマネジメント技能検定(国家検定)を視野に入れている。料飲の検定が多かったので、宿泊の検定強化にもなるのではないかな。まだ出来たばかりで浸透するには 5 年程かかるとのことで、2020 年は、まず職員がチャレンジして、難易度の確認含め検討していきたい。

■2018 年度生のカリキュラムが授業内容含め安定して良かったため、2020 年度は大幅な変更なく生かしていきたいと考えている。

塚本 :ブライダル科

■2019 年度に取り入れた「BC 技能検定対策」(前期・後期)

3 級を目標とし、1 年生でチャレンジさせる方向。現状、結果待ち。(2/28 合格発表予定)

■2019 年度より「ブライダルフォト」「ブライダルムービー」の授業を拡大。

1・2 年生と成果発表で行っているイベントでもフォトやムービー担当の学生がおり、また近年写真・映像関係に就職する学生もいるため、より知識と技術の強化を図るため。2020 年度よりプランナーコースだけでなく、ビューティスタイリストコースも半期のみ導入する予定。

■2020 年度より「ブライダルフラワー」の授業を導入。

数年前まで行っていて、生花の管理問題等で廃止したが、フラワー関係に興味のある学生や就職する学生もおり、「空間コーディネート」と併せて、ブライダル業界には必要な知識と考えているため、両コースに導入する。

小川 :夜間部デュアル科

■夜間部は、ホテル・ブライダル・エアライン・テーマパークの 4 学科で構成されている。

■ホテル科は、日中はホテルで業務をし、夜の時間帯に学校で学ぶシステムになっている。

■1 年生では共通科目に、2 年生では専門科目に切り替えて重きを置いている。

学力の差が激しいため、選択制の授業を取り入れている。

■ホテル科に関して、宿泊と料飲に特化している授業内容を組み立てている。

加藤氏:英語のクラス分け

英語が嫌い、苦手な学生でも、切り捨てないような授業内容・運営を。好きになれるようなきっかけやアイデアを取り入れていくと良いのではないかな。例えば、ソフトを使って文章を作ることや、ポケットウォークを使用するなど。

飛田氏:英語のセンテンスを考えると難しいが、単語だけでもまずは知る・使って英語に触れる機会を作ると良いのでは。

澤田 :学校内では、日本語を使わず英語を使ってお菓子を食べながらゲームなどをして楽しむ「語学カフェ」を行っている。

山下氏:国際化が進んでいる。

環境問題。エコに対する知識や意識をもっと図っていくこと。

学生も、社会人になっても、人間関係で悩む人が多く、この業界含め、とにかく“人”である。

LGBT、心のバリアフリーなど人や道徳、人間力をあげるための教えが、もっと必要なのではないかな。

加藤氏:公開授業を大学では盛んに行っている。

世界の動きをもっと知るべきだと思う。

【2020 年度企業実習について】

澤田 :就職の早期化に伴い、内定した後卒業するまでの学生のモチベーションが一つの課題でもある。
企業実習について、ブライダル科は1年生の夏に1回、ホテル科は、1年生の夏と冬に1回ずつ
計2回実施しているが、冬の実習については、就職活動時期でもあり、気持ちの温度感や切り替え
がとても難しい。2年生の冬に時期変更の案もあって、是非ご意見をいただきたい。

風間氏:内定学生のモチベーションを保つ意味では、2年生に企業実習を行うことは良いと思うが、受け入れ側
とすると、他企業に内定をしている学生の受け入れという点では、少し難しさも感じるところがある。

山下氏:ある調理学校では、1年生の5月に内定をもらった学生の例もある。
高校生が企業からもとても注目されている。

矢口 :今後、学習成果をどう計っていくか。

学校としてアビリンピック(全国障害者技能競技大会)に協力している。全国大会まで行われている。
ホテル・ブライダル業界で、競技会のようなものはないのか。

加藤氏:本日傾聴させていただく「卒業研究」も、1つの成果発表ではないかと思う。

風間氏:創造力・提案力が乏しいので、そういった力をつけるとより良いと思う。

進行澤田により閉会。